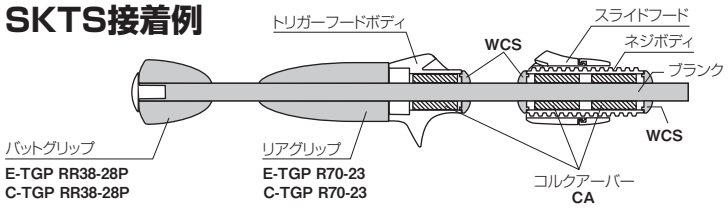
SKシリーズの接着 ～ あわせて別冊『誰にでもできるロッドクラフト』も参照ください ～

グリップ素材の内径にスキ間がある場合は、ブランクに糸を巻いて寸法調整してください。

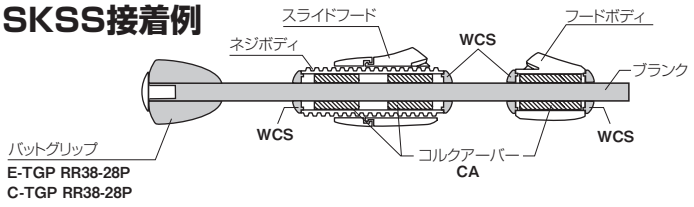
以下の作業で使用する接着剤は、すべて二液性エポキシ接着剤です。取扱説明書をよく読み、ひとつずつ確実に硬化させてから次の接着へと進んでください。　※硬化時間にご注意ください。

どちらもこの時点では、ガイドはブランクに付いていません

SKTS接着例



SKSS接着例



まず目安寸法の決定を

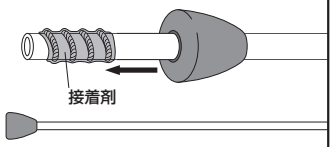
接着を始める前に、必ず使用リールを装着し、目安寸法(P.76)を決めてからすべての作業を始めてください。目安寸法は **SKTS、SKSS** とも **34mm** に設定しています。しかしながらこの数値は、リール足の形状によっても変わりますので、この点じゅうぶんご注意ください。

アーバーは専用コルクで

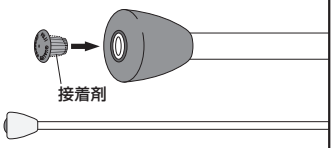
マスキングテープなどで代用すると、特にネジボディがたわんでスライドフードの回転に支障をきたすことがあります。コルクアーバーは接着剤をよく吸収し、硬化するとしっかり固まります。

SKTS接着例

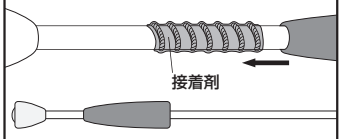
①バットグリップを接着します。



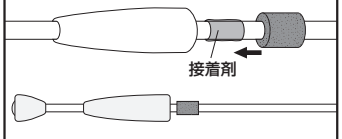
②バットプラグを接着します。



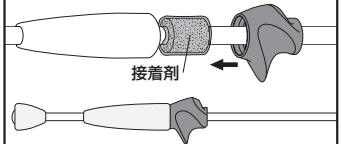
③リアグリップを接着します。



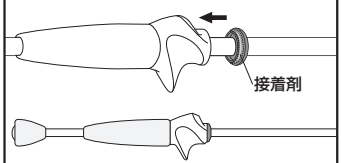
④トリガーフードボディ用のコルクアーバーをブランクに接着します。



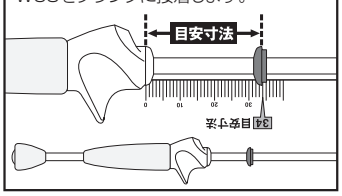
⑤ブランクのスパインに合わせ、トリガーフードボディを接着します。



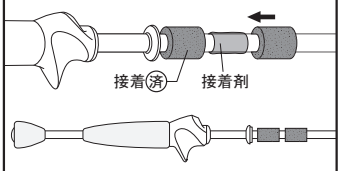
⑥WCSをトリガーフードボディに接着します。



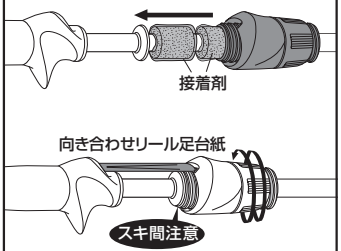
⑦目安寸法定規に合わせ、ネジボディ用のWCSをブランクに接着します。



⑧ネジボディ用のコルクアーバーをブランクに接着します。



⑨スライドフード装着のままネジボディを接着します。トリガーフードボディとの向きを合わせる時、**向き合わせリール足台紙**を使うと便利です。

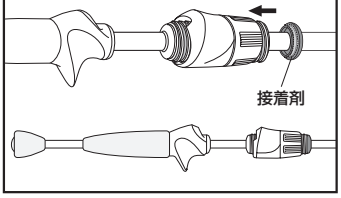


※スライドフードを回しすぎると、ネジボディとWCSとの間にスキ間が空くので注意してください。

※向きが合ったら、硬化するまで動かさないでください。

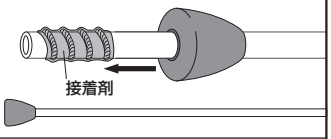
※接着剤がスライドフードやネジボディに付かないよう注意してください。

⑩WCSをネジボディのもう一方に接着し、これが硬化すれば完成です。

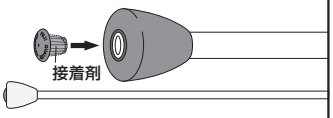


SKSS接着例

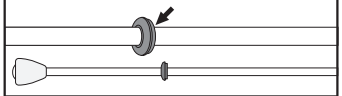
①バットグリップを接着します。



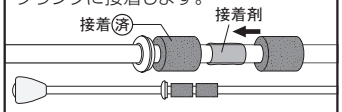
②バットプラグを接着します。



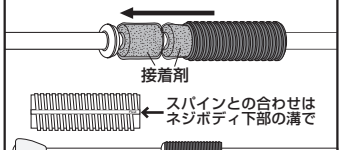
③ネジボディ用(バットエンド側)のWCSをブランクに接着します。



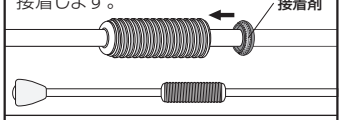
④ネジボディ用のコルクアーバーをブランクに接着します。



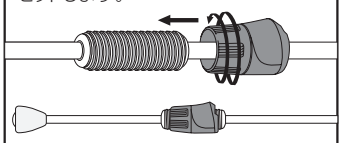
⑤ネジボディを接着します。



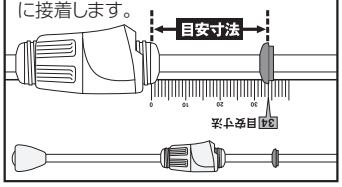
⑥WCSをネジボディのもう一方に接着します。



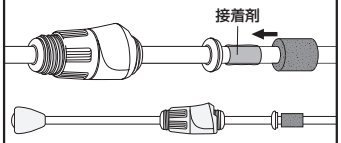
⑦ネジボディにスライドフードをセットします。



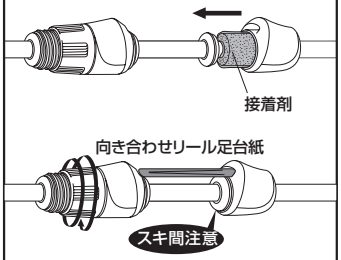
⑧目安寸法定規に合わせ、フードボディ用(バットエンド側)のWCSをブランクに接着します。



⑨フードボディ用のコルクアーバーをブランクに接着します。



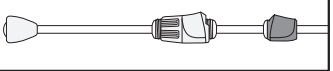
⑩フードボディを接着します。スライドフードとの向きを合わせる時、**向き合わせリール足台紙**を使うと便利です。



※スライドフードを回しすぎると、ネジボディとWCSとの間にスキ間が空くので注意してください。

※向きが合ったら、硬化するまで動かさないでください。

※接着剤がスライドフードやネジボディに付かないよう注意してください。



⑪WCSをフードボディのもう一方に接着し、これが硬化すれば完成です。